

Elche

# Die Eiche <sup>ティ・アイヘ</sup>

Japanisch-Deutsche Gesellschaft in der Präfektur Chiba

事務局 〒274-0822 船橋市飯山満町2-518-1 第二ワールド ナーシング ホーム内  
TEL.047-461-9111 FAX 047-461-7010

## 加藤会長 逝去さる

前号訃報(急告)のとおり会長加藤吉昭氏は、去る4月28日午後11時35分、多発性脳梗塞のため逝去されました。

ここに会員の皆様と当協会創立以来の永年に亘るご功績を偲び、感謝の誠を捧げ、ご冥福をお祈り致したいと存じます。

平成13年5月 千葉県日独協会



船橋市奇苑における葬儀告別式で挨拶する和子夫人

ドイツ連邦共和国特命全権大使よりの弔文(訳文)

東京、2001年4月30日

船橋市海神5-3-22  
加藤和子様

本日、ご主人様の突然のご逝去の報に接し、奥様並びにご家族様のご心痛はいかばかりかと拝察致します。喪心より哀悼の意をお伝え致します。

加藤先生は長年にわたって千葉県日独協会会長の職にあり、ドイツ及びドイツ国民に対する理解を日本において深めるため多大なご尽力をされました。ドイツ大使館の職員は、千葉県日独協会からご招待を受けて、さまざまな行事に常に喜びを持って参加してきましたが、その質の高さと千葉県民への反響の大きさに深い感銘を受けました。

ご主人様は、習志野墓苑にあるドイツ人兵士の墓を大切に守り、毎年慰霊祭を行うことに腐心してこられました。故人となった我が国の同胞に対する、このような無私の行為には、いかにしても感謝しきれぬものではありません。

ドイツ連邦共和国は日本における真の友人を失ってしまいました。ここに心よりお悔やみを申し上げます。

駐日ドイツ連邦共和国大使  
Dr. ウーヴェ・ケストナー

### 料理教室「ふれあいクッキング」開催

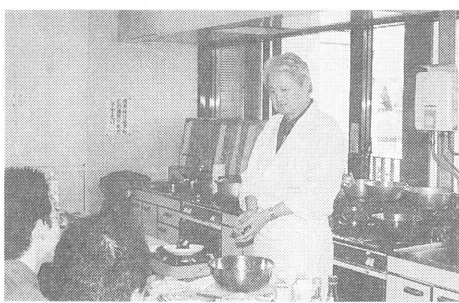
五月十九日(土) 船橋東部公民館

当協会初めての試み、料理教室が十九日午後 日本食糧新聞社の協力を得て実施された。

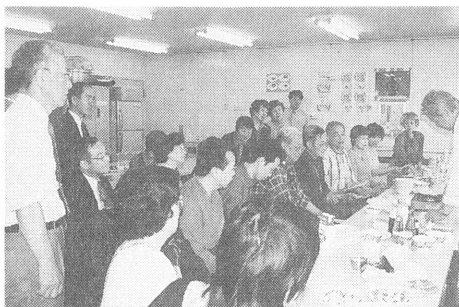
当日は、平尾浩三顧問夫妻をはじめとする会員及びその知人二十五名が参集、協賛六社が紹介された後、小松原大靖講師が六社から提供された食材・調味料を使いながら、皆を笑わせつつも、料理のコツを楽しく教えてくれ、大好評であった。余りの楽しさに「男子厨房に入らざるの考えを改めます」(平尾浩三顧問)、「是非又続けて欲しい」(鈴木淑弘理事)との声も。帰りには、講習会で使われた食材が土産として配られ、全員大満足で散会。なお料理内容は、

- ・赤穂化成「海の深層水『天海の水』」IIわかめスープ
- ・塩水港精糖「オリゴのおかげ」IIヘルシー大学芋
- ・ゴマヤ「白當りゴマ」II筍と若布のごま風味
- ・日本精塩「天日塩」IIなすの浅漬け
- ・鈴廣かまぼこ「小田原っこ」II蒲鉾とえんどう豆のくず煮
- ・丸美屋食品工業「四川極うま辛口・麻婆豆腐の素」II麻婆豆腐

他に、特別にドイツ料理と言う事でズッキーニのサワークリーム煮が紹介された。



小松原講師



熱心に聞く会員諸氏

～今後の行事予定～

7月14日(土) 12:40PM JR 鶴見駅東口改札口集合。  
東京電力火力発電所・塩水港精糖・  
キリンビール見学。参加費無料。  
(但し交通費自弁)。お子様の自由研究に  
最適ですので、家族連れ歓迎。  
申し込みは同封のはがきで。  
9月8日(土) 2:00-5:30 PM  
臨時総会と講演会・ビール祭。  
詳細次号。

13年度会費納入のお願い

平成十三年度会費未納の方は、下記により六月末迄にお  
振り込み下さい。

- 個人会員 3,000円
- 法人会員 10,000円

同封の振込用紙にて郵便局又は、下記へお願いします。

千葉興行銀行船橋支店  
普通 6141221 名義人 千葉県日独協会

新会員氏名 (入会順・敬称略)

石河 正夫 (船橋市)	藤井 貞二 (市川市)
栗田 邦彦 (千葉市)	青木 顕次 (船橋市)
伊藤 誠一 (松戸市)	関口 静雄 (船橋市)
藤倉 和明 (船橋市)	藤井 孝子 (松戸市)
岡田 英之 (横浜市)	和田 昌行 (中央区)
小池 正夫 (市川市)	

加藤吉昭会長を悼む

加藤会長は昨年7月に体調を崩され、本年に入ってから入院  
治療中の所、4月28日に逝去された。享年73歳。

氏は昭和2年(1927)8月14日横須賀市生まれ、24年日本大  
学専門部歯科卒業、44年同大学教授、平成9年名誉教授を授与  
された。この間1980、89年の2度にわたりベルリン自由大学  
客員教授に招かれた。そして平成7年(1995)11月19日の「ド  
イツ国民の日」(Volkstrauertag)にあたり船橋市習志野霊園に眠  
る30柱の第一次大戦習志野捕虜収容所ドイツ兵士戦没者追悼慰  
霊祭を40年ぶりに復活させ、戦争根絶の誓いを新たにす日独  
協力事業推進者として翌年千葉県日独協会を設立発起し会長に  
就任された。

葬儀は5月3日12:30PMより、船橋斎苑にて行なわれ、ド  
イツ連邦共和国大使館からはライムンド・ヴァルナー武官と岩  
村偉文氏がケストナー大使の弔文を奉呈された他、当協会顧問  
小野寺和夫東大名誉教授、同平尾浩三同名誉教授、国枝誠昭副  
会長ら、故人を追慕する日独協会関係者多数が日大歯学部、船  
橋市ライオンズクラブ関係者達と共に会葬した。また、林理事  
長、花井(財)日独協会常務理事が弔辞を述べられた他、会員  
の桜田義孝国会議員、全国日独協会連合会の樋口廣太郎会長、  
群馬日独協会の平形義人会長、茨城県日独文化協会井上壽博会  
長、大分日独協会の清水正嗣会長、常木實顧問、アルフレッド・  
ステューバー元参与、デュッセルドルフ日本商工会議所藤本修  
事務総長よりの弔電等、日独協会関係者の弔電が相次ぎ盛大な  
葬儀となった。

尚、ヴァルナー武官、岩村氏共、当協会会員と共に2:30PM  
近くなった出棺を見送られた。

千葉県日独協会会長、(財)日独協会評議員、元日独歯学協会副会  
長、元ベルリン自由大学客員教授 加藤吉昭先生のご霊前に謹んで  
お別れの辞を申し上げます。

弔 辞

加藤先生、あなたは昭和四十年代に、(財)日独協会活動参画  
以来三十余年、多方面にわたり日独文化交流のリーダー、また  
は両国の「かけ橋」として貢献されました。

特に、あなたは一九八九年十一月九日夜、あのベルリンの壁  
崩壊の歴史的瞬間、東西ドイツの統一への歩みを現地ベルリン  
で体験され、語り継ぐかけがえの無い日独親善愛好者でありま  
した。また近くは平成七年(一九九五)十一月十九日の「ドイ  
ツ国民哀悼の日」(Volkstrauertag)にあたり、当地船橋市習志野  
霊園に眠る三十柱の第一次大戦習志野捕虜収容所ドイツ兵士戦  
没者追悼慰霊祭を四十年ぶりに復活させ、戦争根絶の誓いを新  
たにする日独協力事業の発起推進者として千葉県日独協会を起  
こし賞賛されました。

更には、かつて東京・横浜ドイツ学園校舎新設募金、ボンの  
ベートーヴェンハウス修復募金、或は昨年のピレエルト市  
ドイツ障害者テンカン患者訓練施設の、「日本庭園」造成募金  
等、ドイツ支援活動の率先垂範者としても傑出し、あなたの一  
意献身の実行力、また温厚なる人柄は、千葉県日独協会会員の  
みならず、各地日独協会間でも敬愛されました。

ひるがえって、昨年秋に東京開催の河野外務大臣とフィッシ  
ャー副首相兼外相との日独外相定期協議に於いては、二十一世  
紀における日独協力のあり方として、友好協会、姉妹都市、及  
び日独関係に関連する文化関係機関及び団体の交流強化の提言  
が合意されましたが、この新時代に加藤先生の卓越した識見と  
豊かなご体験に期待すること切なるものがありました。然るに  
今、先生のご長逝に接し、真に遺憾の極みであります。  
ここに日独協会関係者を代表して謹んで弔意を表し、ご冥福を  
祈ります。

平成十三年五月三日

(財)日独協会

常務理事 花井清